

2014 活動記録 No

活動日時	2014年7月11日 午前10時～14時半
場 所	<ul style="list-style-type: none"> ・講演会：セントポールズ会館「芙蓉」 ・ランチ会・研究会：リビエラ
出席者	13名（うちウィメンズ会員10名、RSSC7期生2名）
活動内容	<p>1 テーマ：(1)小学校でのお話会「命を学ぶ ～愛のタオル帽子～」 (2)おひとりさまの当事者会「单身ネット」</p> <p>2 講演者：浅賀はるみさん（RSSC二期生）</p> <p>3 内 容</p> <p>(1)小学校でのお話会「命を学ぶ ～愛のタオル帽子～」</p>  <p>一人娘さんをを小児がんで亡くされた浅賀さんは、数年前から小学校で「命を学ぶ」というお話をされている。小児病棟での闘病生活の映像を映したり、髪の毛のなくなった子どもたちへのタオル帽子作り（自らも被って）のことやアンパンマンの歌を共に歌ったりして、子供たちへ生きる喜びそして苛めの問題まで話されているとのことであった。初めの頃は緊張したが、今では子どもたちがとても真剣に聞いてくれるので、正直嬉しい。これからも継続して小学校を回って行きたいと目を輝かせて話してくださいました。</p> <p>(2)おひとりさまの当事者会「单身ネット」</p> <p>現代の日本社会では、家族がいないことは一見楽な暮らし方に見えるが、「不便」「不都合」「不利」なことも実は大変多い。一方年齢とともに一人暮らしの人は増えていく現状にある。一人の不安も誰かと繋がって皆で助け合えば、心も温かく力が出るのではないかと「单身ネット」を立ち上げた。</p> <p>最近の活動の一つ「おひとりさまの終活講座」はいつも満員だそうで、マスコミの取材を受けることもあるとか。しかしながら、「会員間の意見調整や会の運営は結構大変で・・・」と正直に吐露されていた。</p> 

<現在力入れている活動>

“シニアを生きる”、“時代を生きる”、“仲間と生きる”をテーマに「各種講習会」「施設等の見学会」「情報交換」「近隣での散策会」「食事会」などを行っている。

<これから目指したいこと（夢）>

一人暮らしの生活サポート、家族代行など、究極は単身者同志が住まう家づくり

*浅賀さんは、可愛い盛りのお子さんを亡くすという筆舌に尽くし難い経験をされ、その後、高齢期を独りで生きるという将来への漠とした不安をずっと抱えておられたそうである。

そんな中、思い切って仲間を募って施設見学や勉強会など積極的に活動した結果、不安は徐々に解消して仲間もでき、今や小学校での講演会、地域での委員会活動、更に大学院で福祉の勉強も続けられ、いきいきと過ごされている。

浅賀さんの飾らないストレートなお話しぶりに、同じ母として一人の女性としての共感も多々あり、その上歌ったり、笑ったり、また涙したりと大いに刺激を受けた講演会であった。

浅賀さんを囲むランチ会のあとは、引き続きウィメンズクラブの定例会となった。

「定例会内容」

2010年スタートの小さな研究会ではあるが、振り返るとささやかながら社会貢献活動をしたり、女性の先達に触れてその生き方・思いを学んできた。折角なのでこの内容を自分たちの活動記録として冊子に取りまとめ、何れ発信していけたらと今後の方向性について話し合った。

(小杉：記)